

第6回協議会（勉強会）の概要について

1 日時

平成26年11月14日（金）16:30～17:15

2 出席者

- 花山院弘匡委員長
- 佐藤進委員長職務代理
- 森本哲次委員
- 高本恭子委員
- 吉田育弘教育長

3 テーマ

「福井の教育について」

4 協議内容

- 福井県の小学校で派遣研修中である教員が、学力の向上、体力の向上、規範意識・社会性の醸成、小・中学校の連携及び地域との連携に関する福井県のさまざまな取組について説明し、「あたりまえのことをあたりまえのように学校全体で指導されていること」「授業研究による先生方の学び合いがしっかりしていること」「学校間や家庭・地域とのつながりが深く、地域全体で子どもを育てていく文化があること」が福井県の特徴であると報告した。
- 報告を受けて、福井県の教育について、委員から、「校内外でさまざまな体育的行事が行われており、体を動かす機会が多く、その積み重ねで体力が向上している。」「清掃に学年の縦割りで取り組んでいることで、規範意識が醸成されていくのではないか。」「『福井型18年教育』では、0歳から18歳までを見通して、責任をもって子どもを育てている。」「『あたりまえのことをあたりまえのように指導する』とあるが、『あたりまえ』の内容を研究することが必要である。」等の感想が出た。
- また、今後の奈良県の取組の方向性について、委員から、「地域性の違いがあるため、福井で成果のあった取組が必ずしも奈良でうまくいくとは限らないが、参考にできるところが多くあるので、『奈良らしさ』を大切にしながら、導入できる取組を検討していくことが大切である。」「本県も授業研究や生活指導等に熱心に取り組んでいる先生が多くいる。そのような先生の取組を県全体に広げることができるよう、県教育委員会として、財政面も含めさまざまな支援をしていきたい。」等の意見が出た。
- 最後に、「福井県の学校教育を体感することのできる派遣研修は大変意義深い。この学びを研修終了後に本県に十分フィードバックできるよう、組織として支援していく必要がある。」ことを共通理解した。
- 次回は1月下旬の予定で、「体力向上の取組」について討議を行うことにする。